

## 修了評価の方法

評価基準作成者：板垣 貴宏

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「(1) 職務の理解」から「(9) ころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</li><li>・テキスト 第1巻 第2章「介護における尊厳の保持・自立支援 (P2~447)」 第2巻 第2章「自立に向けた介護の展開 (P2~300)」</li></ul> <p>2 出題形式</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・五肢択一形式とする。</li></ul> <p>3 出題数</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・パターン1 職務の理解 (1問3点：3問9点) 介護における尊厳の保持・自立支援 (1問3点：3問9点) 介護の基本 (1問3点：3問9点) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1問3点：3問9点) 介護におけるコミュニケーション技術 (1問3点：3問9点) 老化の理解 (1問3点：3問9点) 認知症の理解 (1問3点：3問9点) 障がいの理解 (1問3点：3問9点) ころとからだのしくみと生活支援技術 (1問4点：7問28点) 計31問：100点満点</li><li>・パターン2 職務の理解 (1問3点：3問9点) 介護における尊厳の保持・自立支援 (1問3点：3問9点) 介護の基本 (1問3点：3問9点) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1問3点：3問9点) 介護におけるコミュニケーション技術 (1問3点：3問9点) 老化の理解 (1問3点：3問9点) 認知症の理解 (1問3点：3問9点) 障がいの理解 (1問3点：3問9点) ころとからだのしくみと生活支援技術 (1問4点：7問28点)</li></ul>
------------	---

計 31 問：100 点満点

4 合否判定基準

- 合計得点 60 点以上（6 割）合格。但し 0 点項目があった場合は不合格とする。

5 不合格になったときの取扱い

- 結果発表後、直ちに 2 時間の補習のうえ再評価を行う。

なお、再評価に係る合格基準は 70 点以上（7 割）とする。

但し 0 点項目があった場合は不合格とする。

補習料：3,000 円（2 時間程度） 再評価料 1,500 円

- 再試験の実施

不合格者には、修了評価者が直ちに個別指導を行い、合格するまで再試験を実施。